

(2) ムハンマドはそこに安全な状 で入る。

(3) ムハンマドとその教友たちは巡礼を行い、その 礼を完遂する。

当 のマッカの民との 争状 にも わらず、 言者ムハンマドはその教友たちを集め、マッカ への平和的な旅を敢行しました。しかしマッカの民は 行 を けたため、彼らはマディ ナ を余 なくされました。彼の はその 点では しませんでしたが、この 言者とマッカ との で 大な意 をもたらすことになる、ある重要な 定が取り交わされます。そしてムハンマド がその翌年、教友たちと共に平和 に巡礼を行うことが出来たのは、 にその 定によるもの だったのです。こうして彼の は、 を ました。

クルア ンの予言：「不信仰者らは 北する。」

ムスリムたちはマッカにおいて、不信仰者たちからの しい迫害に晒されていました。 ある は彼らによって村八分にされ、慢性的な食 不足に り、 に しまBた。 彼らの 利など考えられないものでしたが、彼らを取り くあらゆる逆境にも わらず神は マッカにてこう予言しているのです：

??54?45?

ここで「ユフザム（北する）」というアラビア の には、未来 制を示す 「サ」が付いて います。つまりそれは、将来 されることを示す明らかな予言なのです。そしてそれは 言者がマッカからマディ ナへ移住した2年 のラマダ ン月（ヒジュラ の9月）、バドルの 役におけるマッカ の 北と撤退という形で します。

言者の逝去、ムスリムの2代目正 カリフとなったウマルは、このバドルの 役にてその を 目にするまで、そのクルア ンの予言がいかに 化するのか知らなかった、と言っていた ものでした（サヒ フ アル＝ブハリ）。

クルア ンの予言：「信仰者たちは政治的 威を 得する」

Footnotes:

[1] これらはハッジにおける、宗教 礼の一部です。

[2]

カズィ スライマン マンス ブリ 著「全世界への慈悲」第一 212ペ ジ、及びアクラム ディヤ ウ アル=ウマリ 著「マディ ナ社会」第二 139ペ ジ参照。

[3]

マ ティン リングス著「ムハンマド：初期文献に基づくその人生」89ペ ジ参照。

[4]

カズィ スライマン マンス ブリ 著「全世界への慈悲」第三 299ペ ジ、及びアクラム ディヤ ウ アル=ウマリ 著「マディ ナ社会」第二 37ペ ジ参照。

[5]

“arts, Islamic.” Encyclop dia Britannica from Encyclop dia Britannica Premium Ser
(<http://www.britannica.com/eb/article-13813>)

[6]

マ ティン リングス著「ムハンマド：初期文献に基づくその人生」204ペ ジ、カズィ スライマン マンス ブリ 著「全世界への慈悲」第三 302ペ ジ参照。

[7]

サ ミル ギスヤ ン博士著「最 の使徒ムハンマドのメッセ ジ」参照。

[8]

「あなたは心のうちに『われわれは、その言 が主の言われたものでないと、どうして知り得ようか』と言うであろう。もし 言者があって、主の名によって ても、その言 が成就せず、またその事が起らない は、それは主が られた言、その 言者がほしいままに ったのである。その 言者を恐れるに及ばない。」(旧 、ニュ アメリカスタンダ ド版、申命 18: 21-22)。

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/384>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。